

次回の予告！
「市民参画の事例から考えてみましょう」

第1回目は市民の参画で何が出来るか？そのための仕組みはどうあるべきかを話し合いました。その中でも、具体的に市民が参画する運営の他の事例を挙げて欲しいという希望がありました。「理想」を語る時は終わり、具体的な事例から自分たちの将来の取り組みの参考としたい。そんな市民のみなさんの生の声でした。また、具体事例を見学に行きたいという声もありました。

そこで、第2回目では...

市内の市民参画の事例として、かしわインフォメーションセンターを柏市からの委託で運営されているNPO法人柏市インフォメーション協会の藤田とし子事務局長をお招きして、市民団体が行政の行う事業に参画する意義やその実情をお聞きしたいと思います。

藤田さんは、新中央図書館整備基本計画策定有識者懇談会委員でもあり、新中央図書館の市民参画に大きな期待を持っていらっしゃいます。藤田さんのお話も参考に、より具体的に市民参画のあり方を考えて行きたいと思えます。

いろいろ“やり隊”！でも **まだまだ“言い隊”**

新たに参加された方々には、日ごろ思うことも含め、まだまだ図書館のあり方に、「言いたい！」ことがあるようです。

市にはもう何度も言っていることが実現したことが無い。市民との協働というなら、市民に頼るのでなく市の方で様々なデータを準備したらどうだろう。

「市民」の意見を聞きました...という「ポーズ」ではないのか？本当に市民の意見が生かされるのか？

若い人の参加がもっとなければ未来が無い。

こんな提案！
がありました

先進事例の見学会とディスカッションを！

他市の事例に学ぶべく具体的なデータが欲しい

次回は、
日時：11月3日(祝)午前9時～正午
会場：沼南庁舎5階501会議室でお会いしましょう！

事務局・連絡先

柏市教育委員会 生涯学習部教育総務課
Tel: 04 - 7191 - 7389 / Fax: 04 - 7190 - 0892

発行日：平成19年11月3日

柏市 新中央図書館
平成19年度 市民ワークショップかわらばん



“いっばいやり隊！”通信

Vol.1

平成19年度 市民ワークショップ

いよいよ始まりました！



総勢23人の“いっばいやり隊”メンバーが集まりました！

平成19年度の柏市新中央図書館整備事業では、市民が新中央図書館の運営に参画するための知恵を集めるワークショップを3回実施します。第1回目が去る10月7日に開催されました。平成18年度に集まったメンバーは、新たにできる図書館に「いっばい言いたい」方々でした。そしてそのメンバーに、今年度から参加する方々も含めて加わり、いよいよ新中央図書館の運営に市民が参画する具体的な方法を考える「いっばいやりたい」市民ワークショップがはじまりました。

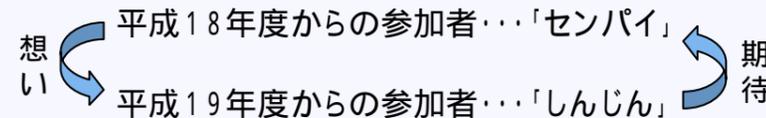
ワークショップのスケジュール



第1回やることメニュー

時間	内容
9:00	ワークショップ スタート 開会の挨拶
	スタッフ・ファシリテーター等紹介
9:10	ワークショップって何だろう？ (アイスブレイクもかねた紹介)
	交流インタビュー (タコ紹介)
	先輩が語る来年(新年度)参加者の自己紹介
9:40	私のワークショップへの期待 新中央図書館の「いま」
9:50	休憩
10:00	去年のワークショップ振り返り！ 五輪の内容チェック！
	特に第3回の五輪「市民ができること」の チェックをグループに分かれて行う。 5名ずつグループにわかれる。
10:10	チェックの方法等の説明
10:20	質疑タイム！(今日の議題への方向付け)
10:30	グループワーク(ディスカッション) フレッシュなアイデアを入れて、 市民が新図書館の運営にどう関わるかを 考えよう！
11:30	発表発表しよう！
11:40	今日の振り返り、次回への参加者の要望
11:55	閉会の挨拶
12:00	終了

先輩から新人へ...昨年度の市民の想いを「つなぐ」



2人一組で交流するインタビューでワークショップの継続性を保ちました。今年度は大学生や若い世代の参加者もいて、幅広いアイデアも生まれました。



しんじん センパイ

市民が主体になって運営に参画する新中央図書館の仕組みを考えました！



平成18年度の最後に「市民が図書館にどう関わるか？」の提案を下敷きに、「センパイ」「しんじん」がまざりあって、「さらに具体的な姿」を検討しました。



グループ72 ☆原則として市民が運営（市民、図書館員、市の協働）

<新しい項目>
 ○年中開館する → 足りない人員をボランティアで埋める
 ○自習室を充実させる
 ○情報交換できる場をつくる（市民の情報提供） ead 宛々交換など
 ○開館時間を延ばす → 足りない人員をボランティアで埋める

<バリアフリー>
 ○外国人の案内・サポート → ボランティアとして通訳する
 ○朗読図書・拡大図書の作成・対面朗読 → ボランティア+職員が行う
 ○壁の人に手話サービス → ボランティア

<館内での整備サポート>
 ○本の修理
 ○館内美化 → 花代は行政、ボランティアが花を生ける

<イベント企画> 図書館行事の企画、講座
 <ボランティアの研修> たゆみなく続ける、募集



グループ74 「やりたいメニュー」をやるための仕組みを考える

組織
 教育委員会 — 図書館 — 図書館協議会 — ボランティア系（独立） — 特別委員会
 プロパー（職員）

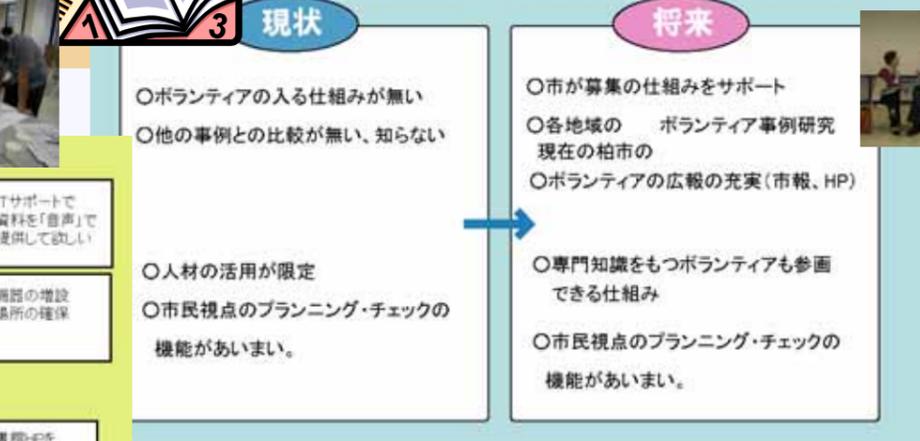
ボランティア系（独立）
 ボランティア系（独立）
 サポート系（独立）
 市民活動センターと協働

業務区分
 ①プロパー
 ②ボランティア
 明確に！

運営改善
 POCA サイクルの活用
 利用者の声
 ・ネット調査
 ・アンケート



グループ71 ボランティアの位置づけを明確にしよう!!
 ~積極的なボランティアの活用と市のサポートの充実~



グループ73 ●情報サポート

情報サポート
 柏市図書館のOPACの充実
 他自治体の図書館はどうか? → 市内の縦断・横断検索
 地図のデータ化 → 提供も
 郷土資料や地域資料をもっと市民の目に触れさせよう
 他外の図書館ともネットワーク ボランティアのアドバイス
 ITサポートで資料を「音声」で提供して欲しい
 本の表紙の画像を確認できる 様に → Google Book
 機器の増設 場所の確保

●情報の収集と発信のサポート
 図書館HPを単独にしよう!
 どのコンテンツをHPに載せるか、→市民意見反映システム
 どのコンテンツをHPに載せるか、→市民意見反映システム
 目安箱(手紙・メール) ボランティアも目を通せる
 図書館HPを通じて、市民と図書館をつなぐ目を通せる

●子ども
 子どもの参加
 子ども図書館員
 子ども時代に読んだ本は大切
 読書経験の意義
 柏市ブックスタート 1歳児半の検診 ボランティア主導

●その他
 書庫・開架への図書館ツアー 参加したくなる 蔵書や独自性



グループ75 参加したいボランティア団体が主体的に活動!

バリアフリー
 障害者の利用対応できるボランティア
 全ての人へのバリアフリー

子ども
 子ども相談窓口
 市民の経験者を起用

環境整備
 利用しやすい動線の確保

案内係

ボランティアの調整役を行政がしっかり支援して各部署に配置!!

製本・補修 ブックリサイクル

